

# 日本実験動物医学会平成 25-26 年度総会



2013年9月22日(日) 13:00~14:00  
岐阜大学  
(第156回日本獣医学会学術集会)

## 総会次第

開 会

会長あいさつ

第10回前島賞授与式

議長選出

議 事

- [1] 平成 25 年度事業報告 (H25 2/1~7/31)
- [2] 平成 25 年度決算報告
- [3] 平成 25-26 年度事業計画 (H25 8/1~H26 7/31)
- [4] 平成 25-26 年度予算案
- [5] 来年の学会とエクスカージョンについて
- [6] その他
- [7] 報告事項

## 議 事

### [ 1 ] 平成 25 年度事業報告 (H25 2/1~7/31)

#### 1. 平成 25 年度総会の開催

日時：平成 25 年 3 月 30 日 (水) 11:00~12:00  
場所：東京大学駒場キャンパス (東京都目黒区)  
第 155 日本獣医学会学術集会 第 5 会場

##### 議事

会則の改訂 (第 7 条及び第 11 条) /平成 24 年度事業報告 /平成 24 年度決算報告 /  
平成 25 年度事業計画 /平成 25 年度予算案 /秋の学会とエクスカージョンについて  
/平成 24 年度の会員数及び入退会者数

#### 2. 理事会の開催

##### 第 1 回 (平成 25 年 3 月 29 日)

日時：平成 25 年 3 月 29 日 (金) 16:30~18:30  
場所：東京大学駒場キャンパス 21 コムシー4F 会議室 1  
出席者：安居院、有川、池田、笠井、久和、黒澤、三好 (以上理事)、  
中井、八神 (以上監事)

#### 3. 学術集会委員会

委員長：久和 茂 (東大)

委員：池 郁生 (理研、副委員長)、北村 浩 (名市大)、佐加良英治 (兵庫医大)、  
鈴木穂高 (国立衛研)、高木久宜 (日本 SLC)、高橋英機 (理研)、古市達哉 (岩手大)

(1) 委員会を 1 回開催した。

(2) 下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

##### 第 155 回日本獣医学会学術集会

シンポジウム I げっ歯類に関するトピックス

日時：平成 25 年 3 月 29 日 13:30~15:30

場所：東京大学駒場キャンパス 第 5 会場

シンポジウム II 欧米における微生物モニタリングの現状

日時：平成 25 年 3 月 30 日 9:00~11:00

場所：東京大学駒場キャンパス 第 5 会場

##### 第 60 回日本実験動物学会総会

JALAM シンポジウム マウス以外の遺伝子組換え動物

日時：平成 25 年 5 月 24 日 13:30~15:00

場所：エポカルつくば (第 3 会場)

#### 4. 情報・編集委員会

委員長：三好一郎（名市大）

委員：山添裕之（住友化学、副委員長）、伊藤麻里子（名大）、森松正美（北大）、  
矢野一男（旭化成クラレメディカル）

平成 25 年度事業報告

（1）JALAM NEWS LETTER 「実験動物医学」を発行した  
No.40/2013.2 担当：山添 <http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/jalam/JALAM40.pdf>

（2）日本実験動物医学会のホームページを随時更新した  
<http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/>

（3）JALAM-ML を UMIN のサーバーに移行し情報・編集委員会が管理を開始した  
[jalam@umin.ac.jp](mailto:jalam@umin.ac.jp)

#### 5. 研修委員会

委員長：竹田三喜夫（エーザイ）

委員：木村 透（自然科学研究機構、副委員長）、安居院高志（北大、担当理事）、上  
村亮三（鹿児島大）、黒木宏二（大日本住友製薬）、高木久宜（日本エスエルシー）、森  
松正美（北大）、矢野一男（旭化成メディカル）、山添裕之（住友化学）、和田聰（三菱  
メディエンス）、黒澤努（AAALAC、オブザーバー）

平成 25 年度事業報告：

2013 年 3 月 28 日(木)に第 2 回の研修委員会を開催した。委員会として初めて 3 月に実  
中研でウェットハンド(WH)の企画・実施を行い、十分な成果をあげたものの今後の課  
題も見えてきたので、議題として「今後の WH の進め方」について討議し議事録に残し  
た。なお、黒澤先生は講師として尽力頂いているので、オブザーバーとして参加頂き受  
講者自らが手を動かすように出席委員がエンカレッジすべきなど講師の目から見た貴  
重なコメントを頂いた。新委員として和田委員を追加した。WH は本来年 1 回の開催で  
あるがここ数年受講希望者が殺到し、募集開始 2 分後には定員一杯で断らざるを得ない  
など異常な状況となっている。委員会としても積み残しをできる限り無くす為最大限の  
努力を行っており、平成 25 年 3 月には、「I げっ歯類及びウサギの獣医学的管理」を実  
施し、5 月には同じ内容で追加実施した。さらに 9 月には平成 24 年の追加で「III. サル  
類の獣医学的管理」を実施する。コアカリキュラムは「げっ歯類及びウサギ」について  
は共通の実施項目が完成し、すでに 2 回実施している。「サル類」についても昨年及び  
本年 9 月の実施で 2 回目でありこれも共通の実施項目が完成している。今後は来年実施  
予定の「II イヌ・ブタの獣医学的管理」の実施項目について注力してゆく。

#### 6. 実験動物学教育委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：安居院高志（北大、副委員長）、猪股智夫（麻布大）、岡田利也（大阪府大）、  
角田 茂（東大）、斎藤 徹（日獣大）、佐々木宣哉（北大）、佐藤雪太（日大）、竹

内崇師（鳥取大）、二上英樹（岐阜大）、長谷川喜久（北里大）、古市達哉（岩手大）、湯川眞嘉（日大）、横須賀 誠（日獣大）

委員会開催：

第155回日本獣医学会学術集会（東京大学）において委員会を開催した。各大学の実験動物学の講義および実習の現状について報告し、意見交換した。

#### 7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田耕治（慶應大）

委員：大沢一貴（長崎大 副委員長）、笠井憲雪（東北大）、佐々木宣哉（北里大）、武井信貴子（株イナリサーチ）、横山政幸（武田薬品）

事業報告：

メールによる委員会（平成25年6月15日-27日）にて、環境省のパブリックコメント募集に対する回答案を作成した。意見募集対象は「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」及び「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の改正案である。回答案は安居院会長に提出され、その後理事会等による再修正後、環境省に提出された。

#### [ 2 ] 平成 25 年度決算報告 (H25 2/1~7/31) (別紙参照)

一般会計決算報告について  
会費納入状況について

#### [ 3 ] 平成 25-26 年度事業計画 (H25 8/1~H26 7/31)

##### 1. 総会

平成 25-26 年度総会を第 156 回日本獣医学会会期中 9 月 22 日に行う。

##### 2. 理事会選挙

平成 26 年 7-8 月に実施する。

##### 3. 学術集会委員会

- (1) 第 156 回日本獣医学会学術集会時にシンポジウムを開催する。  
平成 25 年 9 月 22 日（日）「サル類と感染症」
- (2) 第 156 回日本獣医学会学術集会時に委員会を開催する。
- (3) 第 61 回日本実験動物学会総会開催時に、JALAM シンポジウムを企画・開催する。

##### 4. 情報・編集委員会

- (1) JALAM NEWS LETTER 「実験動物医学」を発行する  
No.41/2013.8 担当：伊藤 <http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/jalam/JALAM41.pdf>  
No.42/2014.2 担当：三好（予定）
- (2) 日本実験動物医学会のホームページを随時更新する

<http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/>

- (3) JALAM-ML (jalam@umin.ac.jp)を管理・運営する  
    メーリングリスト利用規程（案）を作成する
- (4) 会員制ホームページの運用を開始する

## 5. 研修委員会

本年9月に平成24年の追加でウエットハンド研修「Ⅲ.サル類の獣医学的管理」を実施する。また、平成26年5月に「Ⅱ イヌ・ブタの獣医学的管理」を実施する予定である。コアカリキュラムの策定については「げっ歯類及びウサギ」および「サル類」のコアカリキュラムがほぼ完成しそれに沿った研修を本年3月、5月および9月の実習で実施してきている。今後は「イヌ・ブタ」のコアカリキュラムの策定に注力する。

## 6. 実験動物学教育委員会

第156回日本獣医学会学術集会開催時に委員会を開催し、獣医学教育改善などについて、委員間の情報および意見の交換を行う。

## 7. 実験動物法規等検討委員会

- (1) 集合委員会を平成25年9月21日（第156回日本獣医学会、岐阜大学）に開催する。
- (2) 動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。

## 8. 前島賞選考委員会

第156回日本獣医学会時に第10回前島賞候補者の選考を行う。

### [4] 平成25年度（H25 2/1~7/31）予算案（別紙参照）

- 1. 一般予算について

### [5] 来年の学会とエクスカージョンについて

秋の学会は第157回日本獣医学会学術集会が北海道大学において9月に開催される。これに合わせてエクスカージョンを実施する。幹事は北大医学研究科、土佐紀子会員に依頼した。

### [6] その他

- 1. 平成25年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 294 名（平成25年9月19日現在）

- 2. 平成25年度入退者数

入 会 18 名

退 会 0 名

## [ 7 ] 報告事項

### 1. JALAM20 周年記念講演について

JALAM は 2013 年で創立 20 周年を迎えた。第 155 回獣医学会会期中に下記の通り記念行事を行った。

<JALAM 20 周年記念講演会>

テーマ：実験動物医学の国際的進展

(International Development of Laboratory Animal Medicine)

日時：平成 25 年 3 月 30 日（土）16：30～18：30

場所：渋谷エクセルホテル東急 6F プラネッツ

司会・進行：黒澤 努

講演者：

1. ACLAM: Dr. Kathryn Bayne (AAALAC International)

演題：AAALAC International and its accreditation

2. ECLAM: Dr. Judy MacArthur Clark (Animals in Science Regulation Unit)

演題：20 years of European Regulation: what has changed?

3. KCLAM: Prof. Min-Jae Lee (KCLAM President, Kangwon National University)

演題：The role and current status of KCLAM

4. JCLAM: Dr. Tsutomu Miki Kurosawa (JCLAM President, Osaka University Medical School) 演題：JALAM and IACLAM

<祝賀会>

日時：平成 25 年 3 月 30 日（土）18：30～20：30

場所：渋谷エクセルホテル東急 6F フォレスト

### 2. その他

**日本実験動物医学会  
平成 23～25-26 年度役員会および委員会**

**理事・幹事**

会長	安居院 高志	(北海道大学)
副会長 (渉外・JCLAM 担当)	黒澤 努	(AAALAC international)
理事	有川 二郎	(北海道大学)
理事 (会計・事務局担当)	池田 卓也	(日本チャールス・リバー)
理事	笠井 憲雪	(東北大学)
理事	久和 茂	(東京大学)
理事	三好 一郎	(名古屋市立大学)
理事	佐々木 宣哉	(北里大学)
理事	竹田 三喜夫	(エーザイ)
理事	下田 耕治	(慶応義塾大学)
監事	中井 伸子	(日本新薬)
監事	八神 健一	(筑波大学)

**各種委員会委員長**

学術集会委員会	久和 茂	(東京大学)
研修委員会	竹田 三喜夫	(エーザイ)
実験動物学教育委員会	久和 茂	(東京大学)
情報・編集委員会	三好 一郎	(名古屋市立大学)
前島賞選考委員会	笠井 憲雪	(東北大学)
実験動物法規等検討委員会	下田 耕治	(慶応義塾大学)